

シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
芸術	美術Ⅱ	普通科・3年生	2
教科書	[主たる教材]		
副教材等	美Ⅱ [副教材] なし		

1 科目の目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 科目の内容

【表現】

(1) 絵画、彫刻 (2) デザイン (3) 映像メディア表現

【鑑賞】

(1) 発想や構想の独自性、表現の工夫など (2) 美術の働き (3) 美術文化の理解

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	オリエンテーション 絵画（模写）		<ul style="list-style-type: none"> ・課題の意図を理解し関心を持ち制作に意欲的に取り組んでいるかどうか。 ・作業の手順を理解できているのか。 ・発想と技法の関連を知ることができるか。 ・用具の使い方は適切か。 ・発表は客観的で感じたこと、考えたことを文章化できているかななどを個別に対応し指導する。 ・生徒一人一人、グループの到達状況に合わせて適切な課題を用意する。
5月	○1学期中間考査	12	
5月	立体（素焼き土器作り）		
7月	○1学期期末考査	10	
7月	南陵祭準備		
	立体（木工・デザイン時計）		
10月	○2学期中間考査	14	
10月			
12月	鑑賞		
12月	○2学期期末考査	28	
12月	立体（木のゴム印作り）		
	○3学期中間考査		
3月	○学年末考査	6	

計 70 時間（55分授業）

4 学習評価

評価の観点・規準	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 作品提出状況 作品完成度 学習活動への参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の準備、活用状況 作品内容 授業観察 発表内容 	<ul style="list-style-type: none"> 制作状況 作品内容 作業手順や用具使用方法 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞時の関心、集中度の状況 レポート内容

5 担当教員

美術科教諭

6 担当者からのメッセージ

美術の授業を通して想像力や創造力を養い、美術に親しみゆとりある豊かな生活へと活かして欲